

「ヨーロッパの文化と統合」定期テスト対策練習問題

年	組	番	名前
---	---	---	----

【1】宗教についての問題

問1 ヨーロッパの多くの地域で信仰されている宗教を答えなさい。

問2 問1の宗教は三つの宗派に分けられるが、三つ全て答えなさい。

問3 問1の宗教について説明している次の文のうち、正しいものを全て選び○で囲みなさい。

ア：クリスマスやイースターなどの行事がある。

イ：ヨーロッパの街や村には、その中心にモスクがあり、日曜日には多くの人々が礼拝に訪れる。

ウ：仏教・イスラム教と並ぶ世界三大宗教のひとつである。

エ：ヨーロッパの人々の生活に深く根づいている。

【2】言語についての問題

問1 ヨーロッパで使われている言語は、およそ三つの系統に分けることができるが、三つの系統すべてを答えなさい。



問2 ヨーロッパには、トルコや北アフリカの国々から移り住んできた人や労働者が迎え入れられたことによって、異なる信仰が増えているが、その宗教を次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：ユダヤ教
- イ：ヒンドゥー教
- ウ：イスラム教
- エ：仏教

問3 ヨーロッパで使われている言語について説明した次の文の（ ）に当てはまる言葉を答えなさい。

ヨーロッパで使われている同じ系統の言語は、同じ系統の（ ）が用いていたため、文法や発音などに共通する特色がある。

【3】統合についての問題

問1 ヨーロッパを中心に27カ国（2022年現在）が加盟する経済的及び政治的連合のことをなんというか答えなさい。

問2 問1の多くの国で導入されている共通の通貨をなんというか答えなさい。

問3 ヨーロッパの統合について説明している次の文のうち、正しいものを全て選び○で囲みなさい。

- ア：ヨーロッパの多くの国々では、パスポートなしで国境を行き来することができる。
- イ：統合の目的のひとつに、大国に対抗するための団結がある。
- ウ：1967年に、ヨーロッパの28カ国の国がヨーロッパ共同体（EC）という組織を作ったことがきっかけである。
- エ：ヨーロッパの統合は、ヨーロッパで信仰されている宗教を統合する目的がある。



問4 フランスとドイツの貿易相手国を調査したところ、どちらもEU加盟国が多くを占めている。この理由を「税金」という言葉を使ってかんたんに説明しなさい。



「ヨーロッパの文化と統合」定期テスト対策練習問題（解答）

【1】宗教についての問題

問1 キリシト教

問2 ・プロテスタント
・カトリック
・正教会

問3 ア・ウ・エ

【解説】イ：モスクとは、イスラム教の寺院のことであるので誤り。ヨーロッパの街や村には、その中心に教会があり、日曜日には多くの人々が礼拝に訪れるという説明が正しい。

【2】言語についての問題

問1 ・ゲルマン系（言語）
・ラテン系（言語）
・スラブ系（言語）

問2 ウ

問3 民族



【3】統合についての問題

問1 EU連合（欧州連合・ヨーロッパ連合）

問2 ユーロ

問3 ア・イ

【解説】ウ：1967年にECという組織が作られたことは正しいが、当時の加盟国は6カ国だったため誤り。

エ：ヨーロッパの統合の目的は、アメリカなどの大国に対抗することであるため誤り。

問4 EU加盟国からの輸入品にかかる税金がなくされているから

